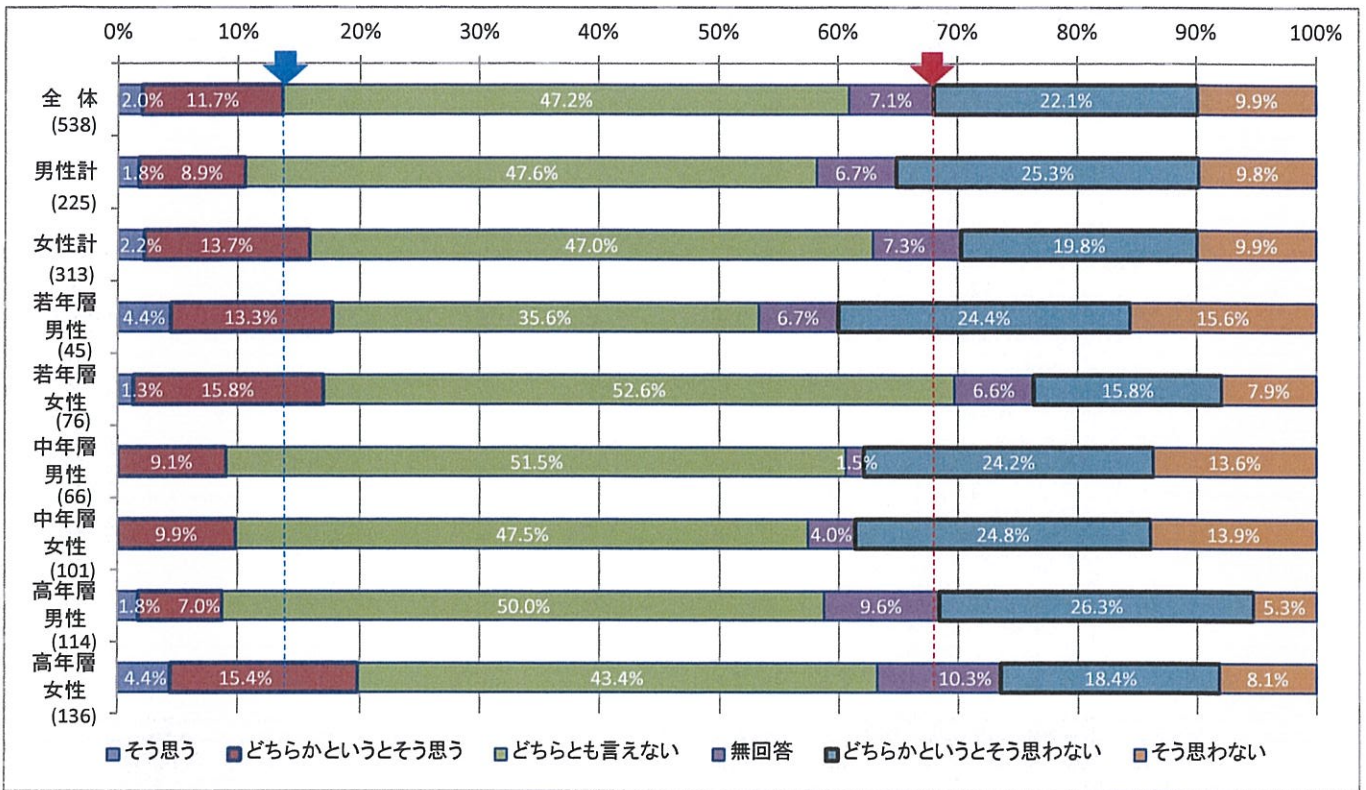


3 青少年の成長と参加

- 12 青少年が社会体験を通して「生きる力」を伸ばせている。
- 13 青少年が自分の生き方や将来像を思い描けている。
- 14 青少年が社会の幅広い分野にかかわり、意見や活力が活かされている。
- 15 青少年がニート、不登校などの課題に直面したときに信頼して相談できるところがあり、支援がされている。
- 16 青少年の成長を支援する社会環境と、青少年を受け入れる居場所がある。

12 青少年が社会体験を通して「生きる力」を伸ばせている。

(1) 世代別・性別分析



(2) 居住区別分析



(3) コメント

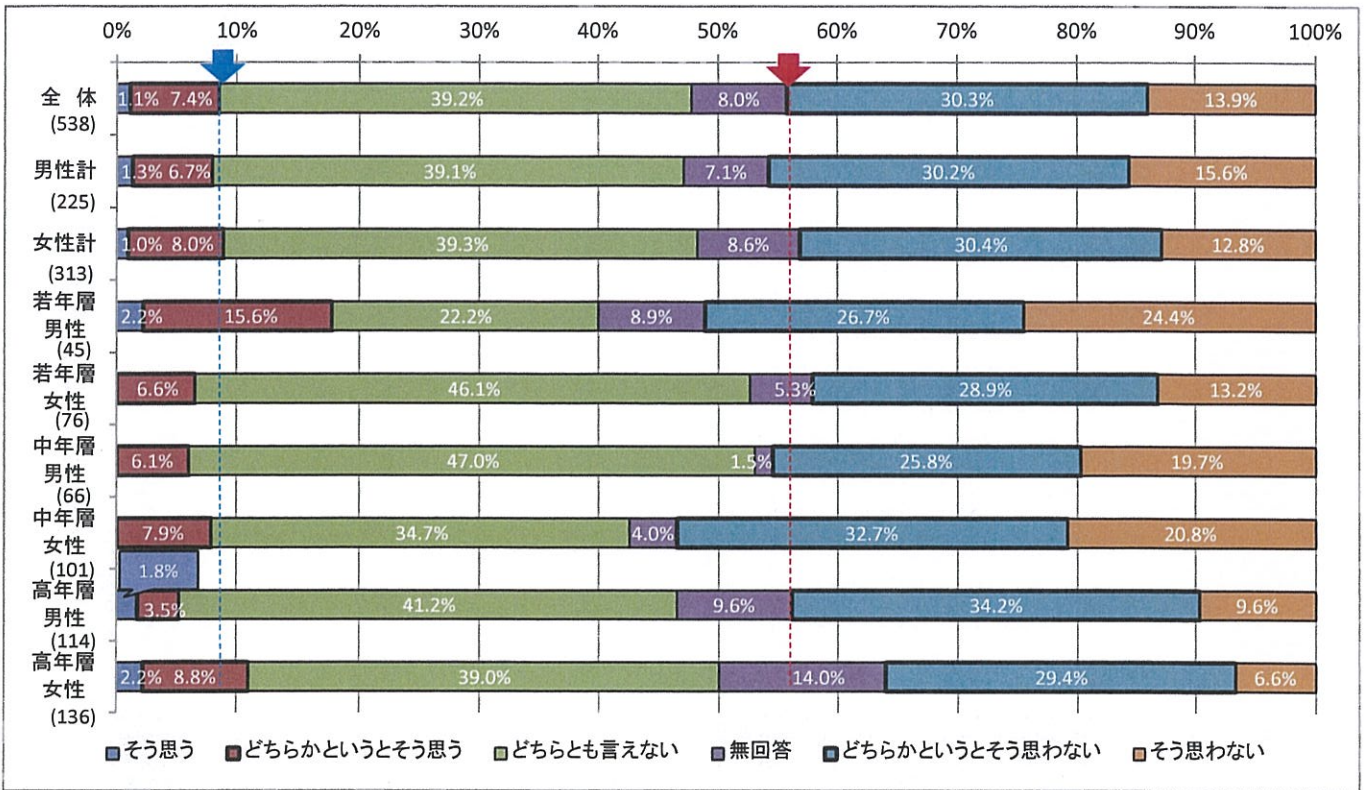
全体的には、どちらとも言えないの回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、女性の方が肯定的な回答の割合が高く、男性の方が否定的な回答の割合が高かった。

世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、高年層女性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、若年層男性、中年層女性及び中年層男性において高かった。

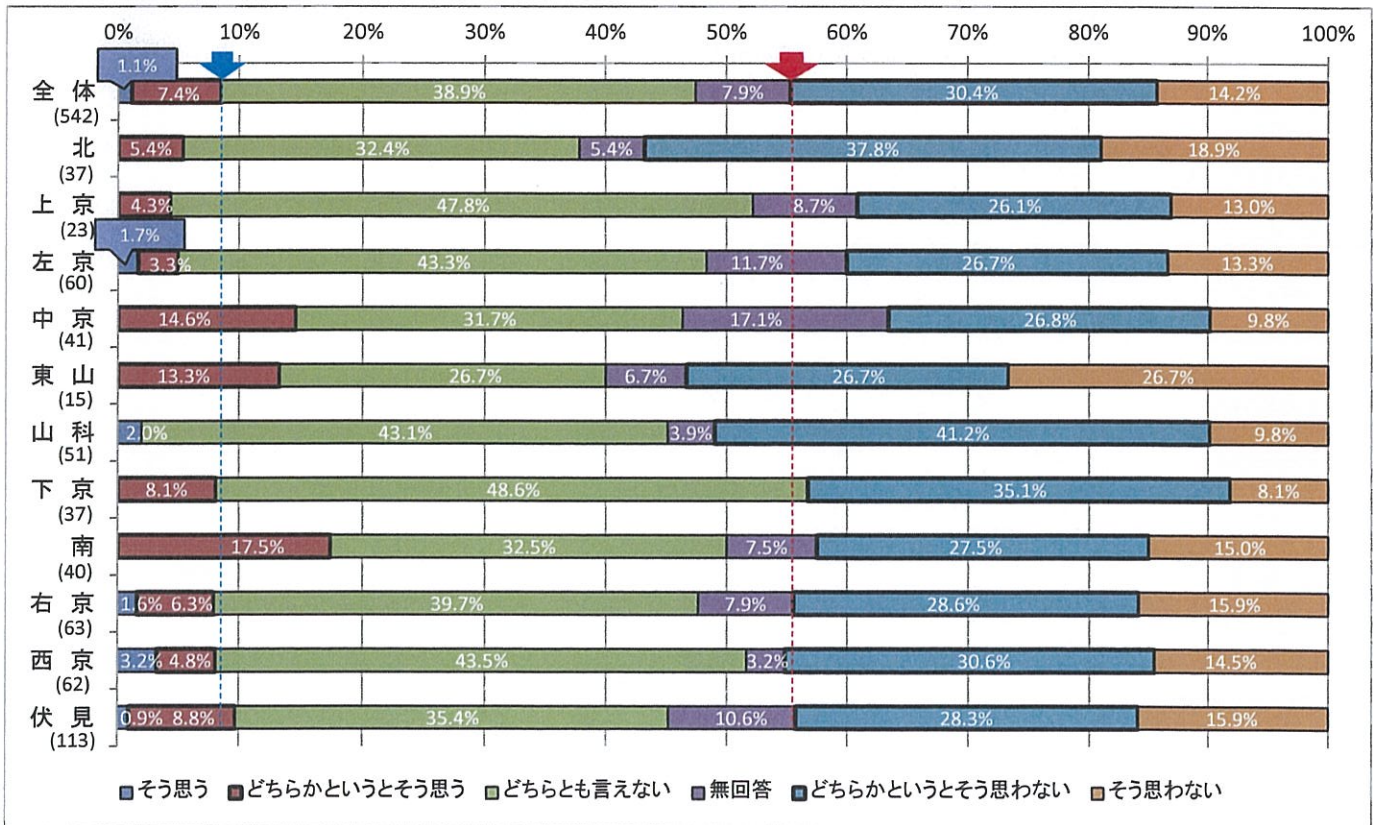
居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、南区及び中京区において高かった。一方、否定的な回答の割合は、東山区、山科区及び北区において高かった。

13 青少年が自分の生き方や将来像を思い描けている。

(1) 世代別・性別分析



(2) 居住区別分析



(3) コメント

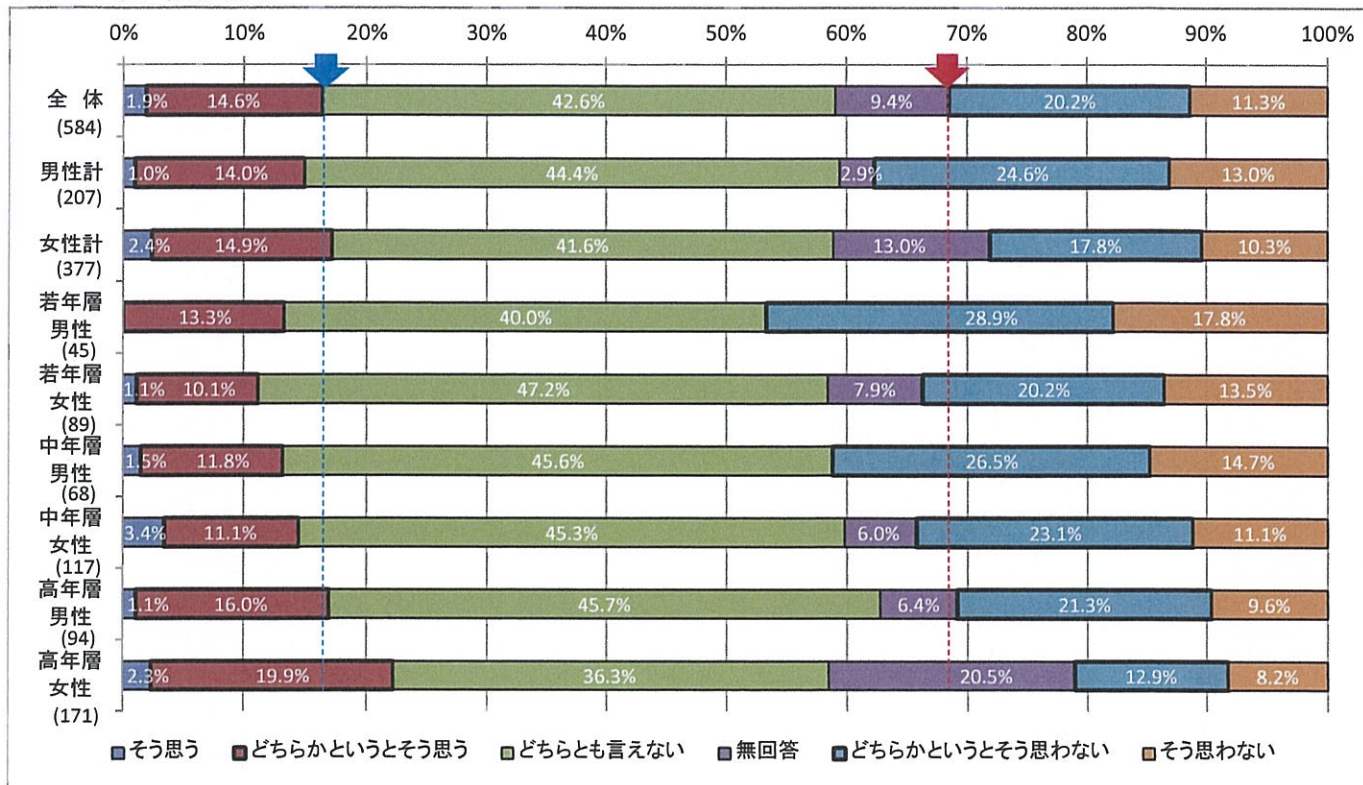
全体的には、否定的な回答の割合が最も高く、その数値は40%を超えた。また、男性と女性との比較では、大きな差は見られなかった。

世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、若年層男性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、中年層女性及び若年層男性において高く、その数値は50%を超えた。

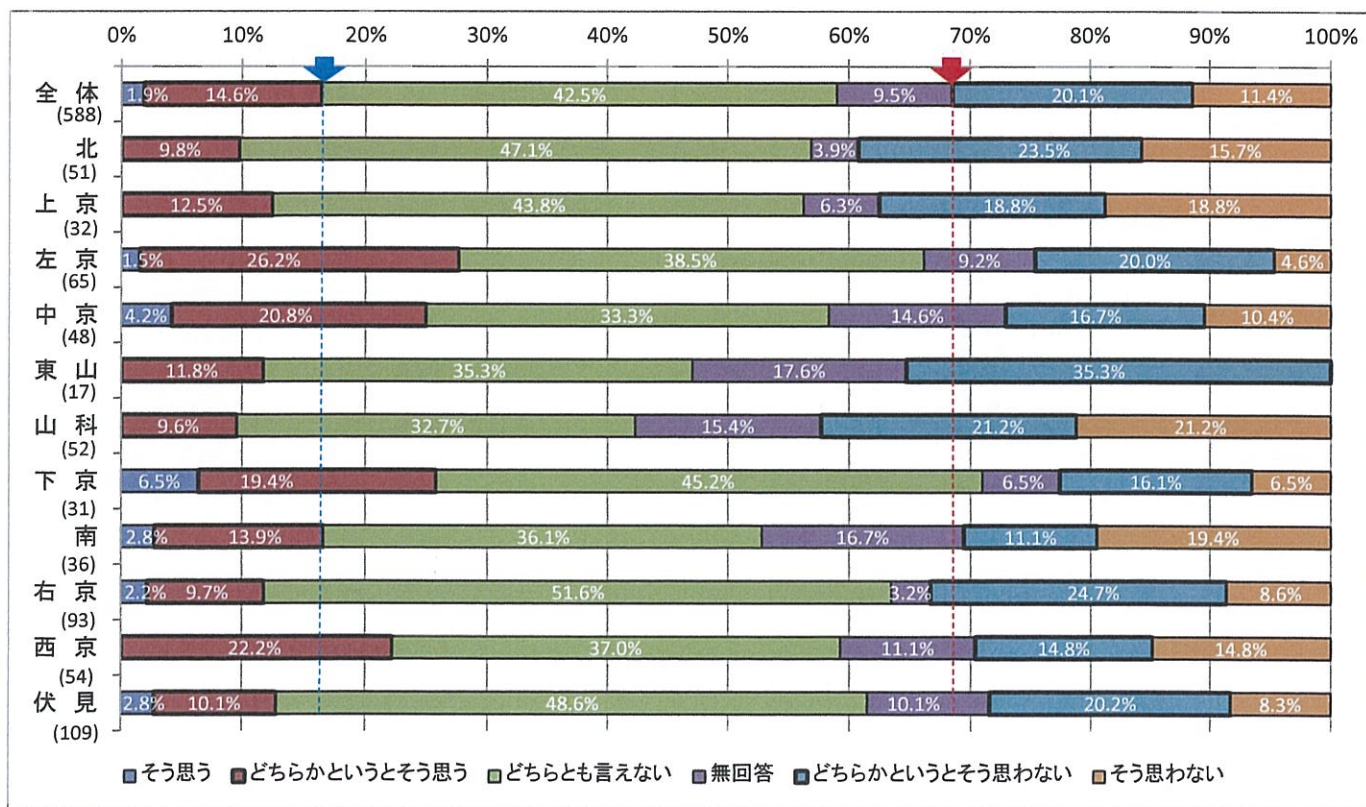
居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、南区及び中京区において高かった。一方、否定的な回答の割合は、北区、東山区及び山科区において高く、その数値は50%を超えた。

14 青少年が社会の幅広い分野にかかわり、意見や活力が活かされている。

(1) 世代別・性別分析



(2) 居住区別分析

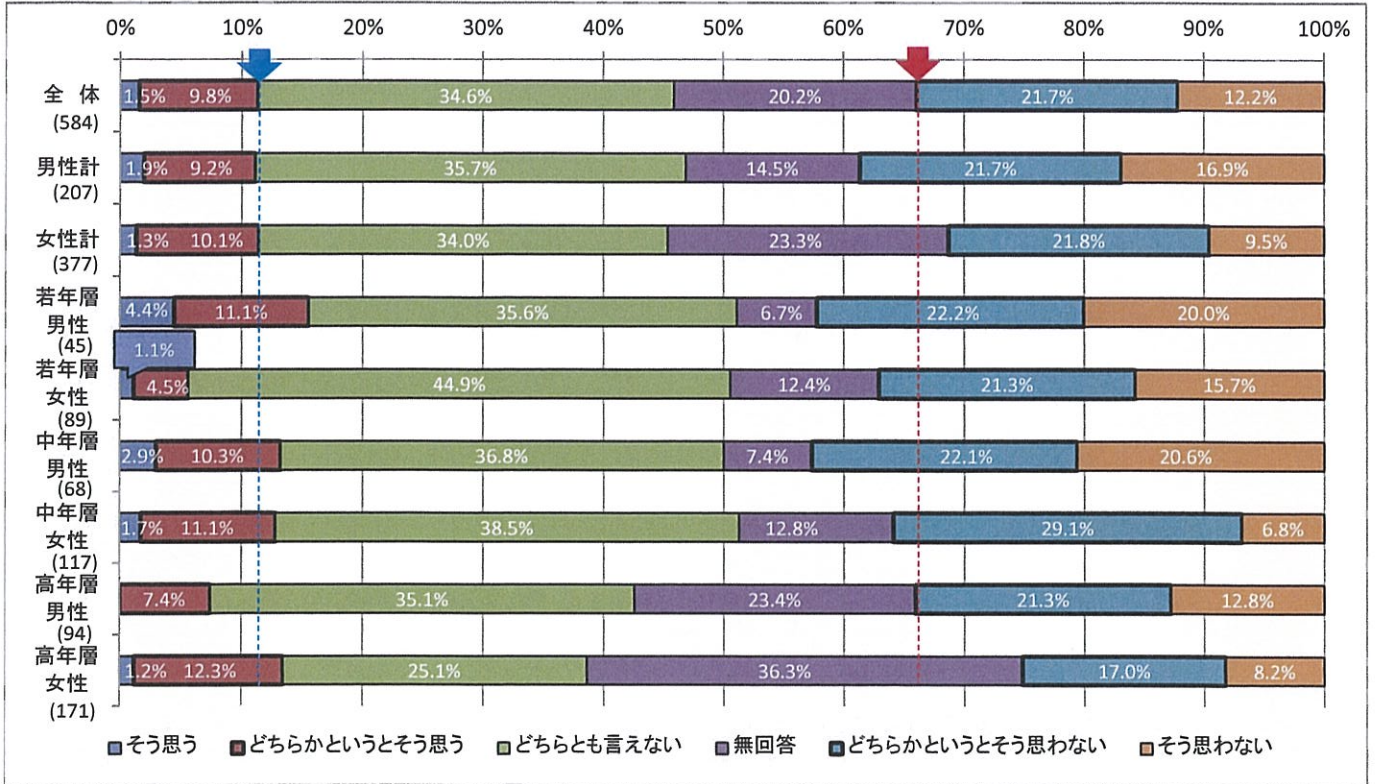


(3) コメント

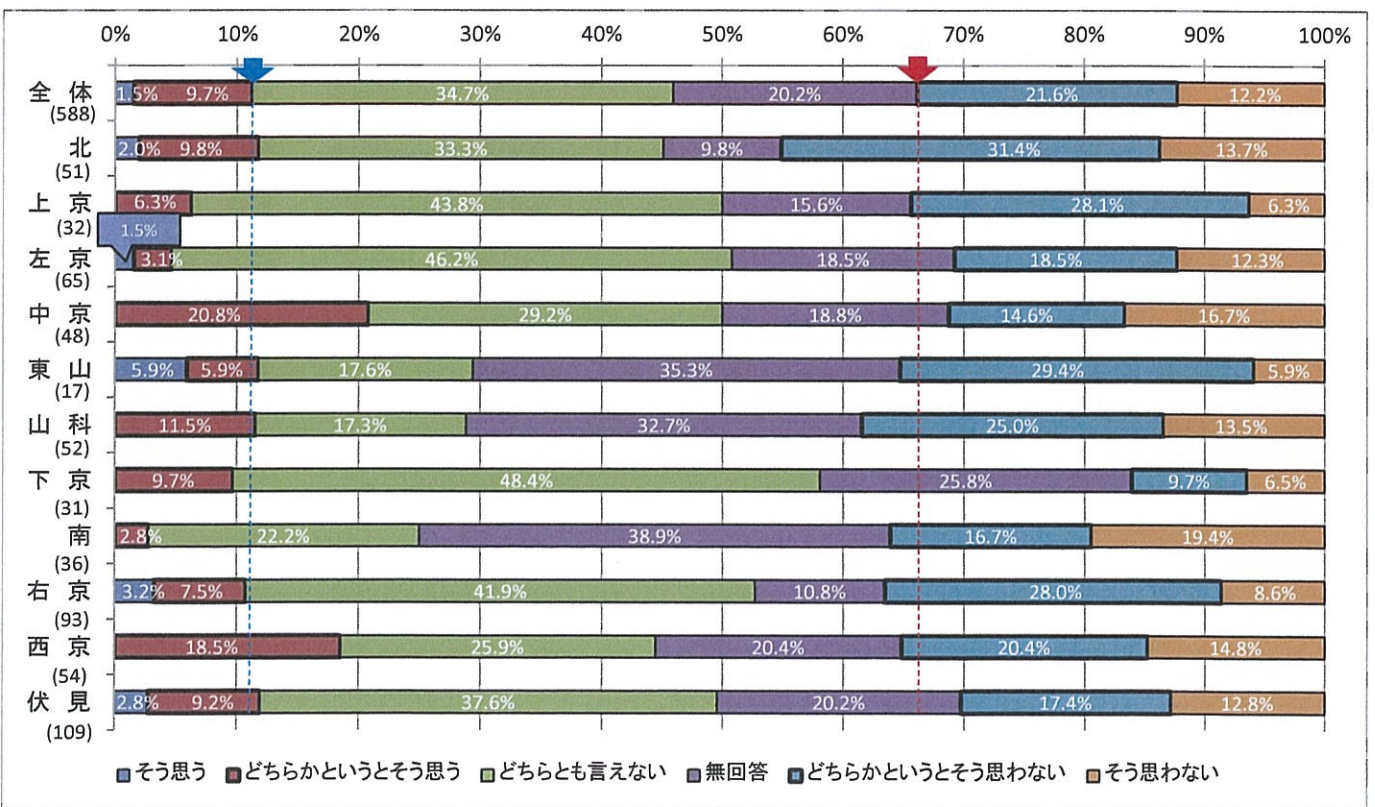
全体的には、どちらとも言えないの回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、男性の方が否定的な回答の割合が高かった。
 世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、高齢層女性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、若年層男性及び中年層男性において高かった。
 居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、左京区、下京区、中京区及び西京区において高かった。一方、否定的な回答の割合は、山科区、北区及び上京区において高かった。

15 青少年がニート、不登校などの課題に直面したときに信頼して相談できる場所があり、支援がされている。

(1) 世代別・性別分析



(2) 居住区別分析

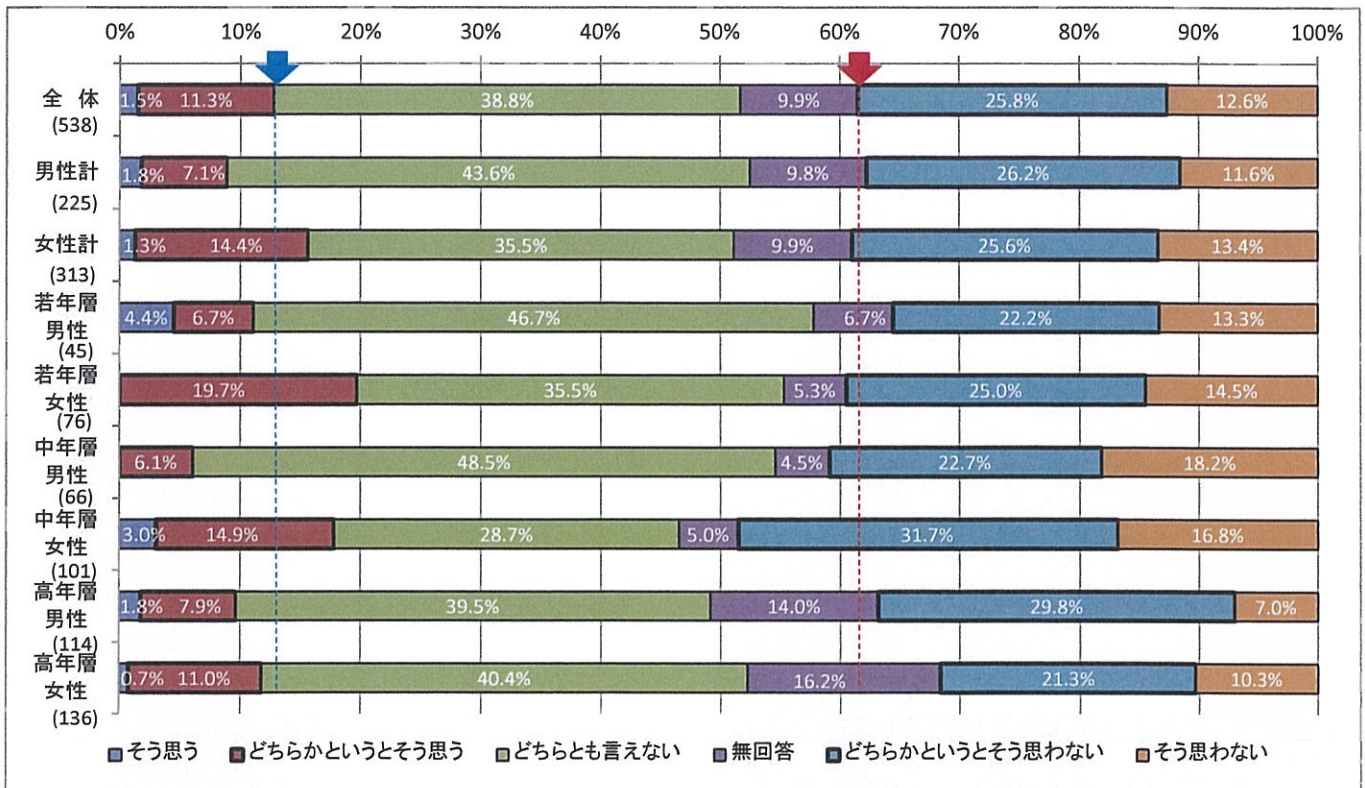


(3) コメント

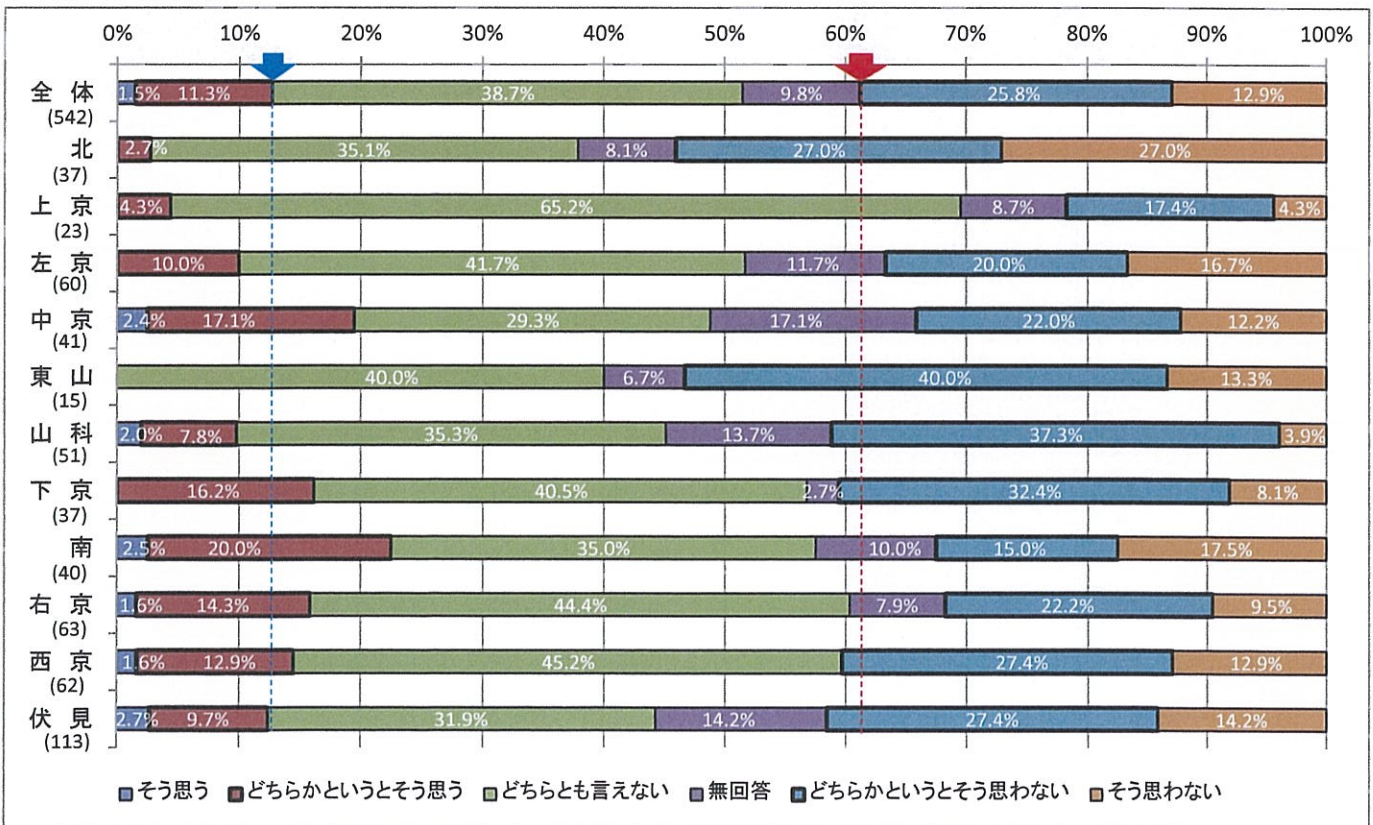
全体的には、どちらとも言えないの回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、男性の方が否定的な回答の割合が高かった。
 世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合では、大きな差は見られなかった。一方、否定的な回答の割合は、中年層男性及び若年層男性において高かった。
 居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、中京区及び西京区において高かった。一方、否定的な回答の割合は、北区において高かった。

16 青少年の成長を支援する社会環境と、青少年を受け入れる居場所がある。

(1) 世代別・性別分析



(2) 居住区別分析



(3) コメント

全体的には、どちらとも言えないの回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、女性の方が肯定的な回答の割合が高かった。
 世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、若年層女性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、中年層女性において高かった。
 居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、南区及び中京区において高かった。一方、否定的な回答の割合は、北区及び東山区において高く、その数値は50%を超えた。